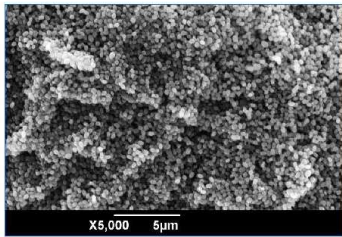


## アジア物性材料

# ガリウム製品売上1.5倍へ

## 技術で顧客要求対応

レアメタル・回収精製のアジア物性材料（本社：横浜市緑区、吉澤信孝社長）は、ガ



酸化ガリウム微細品

リウム製品の今期売上高を前期比1.5倍に引き上げる。同社特有の高純度化技術と形状を制御する技術により、顧客の細かい要求に対応。主力の酸化ガリウムは半導体市場を向け先に引き合いが強まっている。近年は次世代パワー半導体用途でも活用が見込まれており、「今後の引き合い次第では増産体制も視野に入れ

る（吉澤社長という。酸化ガリウム（Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>）やガリウム（III）アセチルアセトナートなどの研究開発も進める。

同社の酸化ガリウムは20年以上の製造販売実績があり、蛍光体・光アイソレーター向けやIGZO（インジウ

ム・ガリウム・亜鉛酸化物）スパッタリングターゲット製造用などに使用されている。基本の形状である針状酸化ガリウムから始まり、微粒子状、顆粒状、焼結体をラインアップに追加。用途拡大に応じてきた。顧客の要望に合わせて形状や粒度、特性を調整する。

酸化ガリウムは通常、針状に成長する。同社は針状をベースに成長方向を調整し、微粒子状や顆粒状に形状をコントロールすることが可能。加工費を抑制する技術を持っており、価格競争力も強みだ。製造過程でケイ素が入りやすいものの、5N規格では3mm未満に抑制。高純度化を実現している。

次世代の需要を取り込むため、幅広いガリウム製品の研究開発にも注力する。Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は次世代パワー半導体用途に開発。酸化ガリウムとともにパワー半導体開発に資するとされる。ガリウム（III）アセチルアセトナートは量子ドットディスプレイなどで、薄膜形成原料として市場拡大が見込まれる。メタルから化成品まで扱う。

課題は原料であるガリウムの安定的な調達だ。そのためリサイクルを強化しており、含有率が低いスクラップも回収。吉澤社長は「今までは難しかった化合物からも回収できる」と胸を張る。リサイクルに必要な設備と原料の両方を持つことが強みだという。

今後は受注量の拡大に合わせてさらに設備投資を行う方針。広く半導体市場に提供する構えだ。

ム・ガリウム・亜鉛酸化物）スパッタリングターゲット製造用などに使用されている。基本の形状である針状酸化ガリウムから始まり、微粒子状、顆粒状、焼結体をラインアップに追加。用途拡大に応じてきた。顧客の要望に合わせて形状や粒度、特性を調整する。

酸化ガリウムは通常、針状に成長する。同社は針状をベースに成長方向を調整し、微粒子状や顆粒状に形状をコントロールすることが可能。加工費を抑制する技術を持っており、価格競争力も強みだ。製造過程でケイ素が入りやすいものの、5N規格では3mm未満に抑制。高純度化を実現している。

次世代の需要を取り込むため、幅広いガリウム製品の研究開発にも注力する。Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は次世代パワー半導体用途に開発。酸化ガリウムとともにパワー半導体開発に資するとされる。ガリウム（III）アセチルアセトナートは量子ドットディスプレイなどで、薄膜形成原料として市場拡大が見込まれる。メタルから化成品まで扱う。

課題は原料であるガリウムの安定的な調達だ。そのためリサイクルを強化しており、含有率が低いスクラップも回収。吉澤社長は「今までは難しかった化合物からも回収できる」と胸を張る。リサイクルに必要な設備と原料の両方を持つことが強みだという。

今後は受注量の拡大に合わせてさらに設備投資を行う方針。広く半導体市場に提供する構えだ。